

うつりかわる武雄市とくらし（小学校第3学年 社会科）



ICT活用のねらい

- ・ 事前に端末を持ち帰り、本時に関する課題を提示することにより、本時の学習に対する児童の関心を高めます。
- ・ ホワイトボード機能で図を動かしたり、アンケートフォームに短文を記入したりして共有することで、他者の意見との比較や意思決定の場とするような活用を展開します。

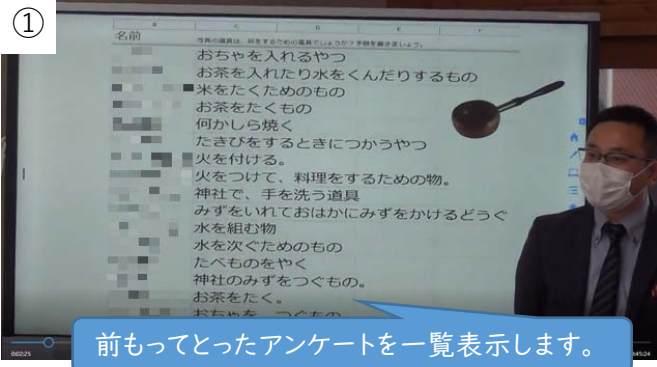
学習の流れ

本時の目標:異なる時期の道具や市の様子を比べる活動を通して、人々のくらしの移り変わりについて関心をもち、これから調べたいことを考えることができる。【主体的に取り組む態度】

導入	展開	まとめ
<p>○ 本時の学習への関心をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「火のし」の写真をアンケートフォームで確認し、用途を予想しておく。 <p>活用ポイント① 【アンケート機能】 【スライド機能】</p> <p>○ 学習問題をつかむ。</p> <p>＜本時の学習問題＞ （道具や街の様子を見て）気付いたことや疑問に思ったことを話し合い、学習問題をつくろう。</p>	<p>○ 同じ用途で道具の形が異なるのはなぜかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 端末上で使用時期の異なる道具を分類し、時代によって道具が変化したことに気付く。 <p>活用ポイント② 【ホワイトボード機能】</p> <p>○ 昔と今で、道具以外にどんなものが変わったかを考える。</p> <p>活用ポイント③ 【スライド機能】</p>	<p>○ 単元を通じた学習問題を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 武雄市の昔と今でどんなことを調べたいかを出し合う。 <p>＜まとめ：単元の学習問題＞ 交通、建物、公共物、人口、道具などを調べ、武雄市がどのように変わったかを考えよう。</p> <p>○ 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none">・ アンケートフォームに、本時の学習の振り返りを記入する。 <p>活用ポイント④ 【アンケート機能】</p>

詳細はICT活用教育「プロジェクトE」サイトをご覧ください
<https://www.pref.saga.lg.jp/kyouiku/list01913.html>

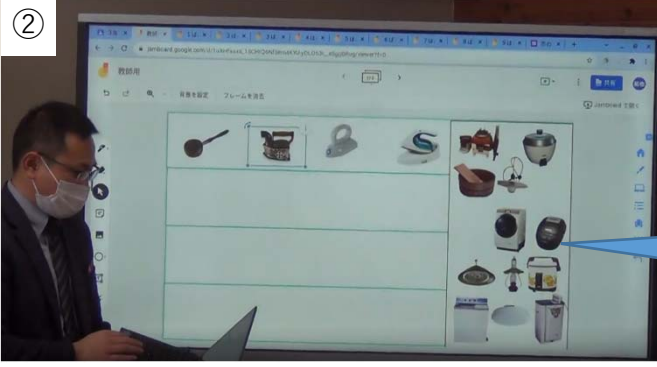




前もってとったアンケートを一覧表示します。

①本時の学習への関心をもつ。
 ・「火のし」の写真をアンケートフォームで確認し、用途を予想しておく。
 【アンケート機能】【スライド機能】

＜本時の学習問題＞
 （道具や街の様子を見て）気付いたことや疑問に思ったことを話し合い、学習問題をつくろう。



②同じ用途で道具の形が異なるのはなぜかを考える。
 ・端末上で使用時期の異なる道具を分類し、時代によって道具が変化したこと気付く。
 【ホワイトボード機能】

ホワイトボード機能を使うと並び替えが簡単!!



③昔と今で、道具以外にどんなものが変わったのかを考える。
 ・武雄市の昔の街並みの写真から現在と違うところに気付く
 【スライド機能】

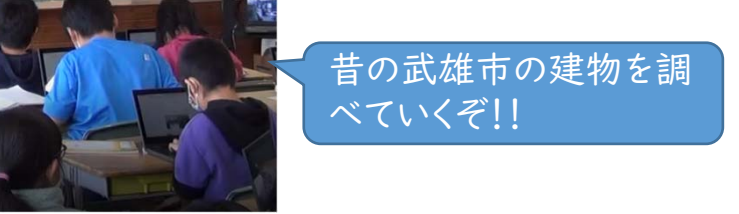


手元の端末で、それぞれの写真を詳しく見ることができます。

＜まとめ：単元の学習問題＞
 交通、建物、公共物、人口、道具などを調べ、武雄市がどのように変わったかを考えよう。



④本時の振り返りをする。
 ・アンケートフォームに、本時の学習の振り返りを記入する。
 【アンケート機能】



武雄市立朝日小学校のエリアリーダー徳永祐也教諭の社会科の実践です。市や人々の生活の様子が、時間の経過とともにうつりかわってきたことを理解するために、まずは、身近な道具がどのように変わってきたのか導入で取り上げています。「火のし」の写真から何の道具なのかを家庭学習で考えさせてアンケートをとることで子供たちの関心を高め、他の道具にも興味津々で活発な意見交換がされました。昔の写真を手元で全員が見れることや友達の考えを共有できることなど、1人1台端末の効果的な活用で、人々のくらしの移り変わりについて関心を持ち、これから調べたいことを、みんな考えることができていました。